

学 藝 新 聞

第 3 号

2016 年（平成28年）3 月 22 日発行

■ 1 年間の留学に出発!.....	1
■ OGOP・ICET・ISA.....	2
■ 卒業式.....	3
■ 輝く人（卒業生・在校生紹介）.....	4・5
■ 学芸トピックス・体育部紹介.....	6・7
■ 学芸スポーツ.....	8

■発行元



大阪学芸高等学校
OSAKA GAKUGEI SENIOR HIGH SCHOOL

〒558-0003 大阪市住吉区长居1丁目4番15号
TEL.06-6693-6301 FAX.06-6693-5173
www.osakagakugei.ac.jp/senior



1年間の留学に出発!!

1月18日（月）、20日（水）、26日（火）に分かれて、カナダ・オーストラリア・ニュージーランドに向け、1年間の留学に出発しました。

O.G.O.P プログラム to Canada

期待と不安と、強い決意を胸に出発

1月18日（月）、本校独自の留学プログラム・OGOP参加生徒が、カナダ・オタワに向けて出発しました。

機内では、「ホストファミリーはどんな人だろう。」「自分の英語は通用するのか。」など不安を口にしていたが、特に大きな問題も発生せず無事にオタワへ到着しました。留学先

のオタワ空港では、生徒の名前を書いた紙をもって歓迎の言葉を投げかけてくれたり、カナダの国旗の旗をふってくれたり、ホームステイ先の家族の温かい出迎えを受けました。

外気温-16℃などという厳しい寒さに戸惑いながらも、体調を崩すことなくスムーズに入校しました。

O.G.O.P とは

Osaka Gakugei Ottawa Program

平成27年度より創設した、比較的安価な本校独自の留学プログラム。カナダの首都オタワの公立学校に留学します。

ICET とは

私費による留学プログラムです。ICETではオーストラリアのデビットソンハイスクールに留学します。

ISA とは

私費による留学プログラムです。今回はニュージーランドの公立高校へ留学します。



ICET プログラム to Australia

日本とは正反対の気候を楽しんでいます

1月20日（水）、オーストラリア・シドニーに向けて、ICETプログラム参加生徒4名が出発しました。シドニーまでは生徒たちだけの移動でしたが無事到着し、今はホストファミリーとの生活と、現地の学

校に慣れるだけで大変ですが、真冬の日本と正反対の、真夏の気候に身体を慣らしつつ、異文化理解と自己開発を中心とした教育スケジュールをこなしています。



ISA プログラム to New Zealand

友人やホストファミリーの支えで快適です

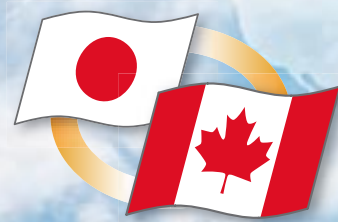
1月26日（火）、ニュージーランド・オークランドに向けて、ISAプログラム参加者1名が旅立ちました。現地では多国籍の友人も出来て、早速英語のオリエンテーションが始まり、頑張っているとのこと。



学芸ニュース

1年間カナダで学びます

O.G.O.Pプログラムで留学！いよいよオタワでの高校生活がスタート！



O.G.O.P (Osaka Gakugei Ottawa Program) は今年度より発足した本校独自の留学プログラムです。オタワ・カールトン地区教育委員会と直接提携し、現地の公立学校に留学して、第二言語としての英語・数学・歴史等の授業を受けます。また、夏期には8週間のサマープログラムに参加し、会話中心の英語授業及び、博物館ツアーや各種スポーツ等のアクティビティに取り組む予定です。様々な学習と経験を通して、語学力の向上・異文化の理解・協調性を持った行動力の涵養等に努めていきます。

2月2日

YPLS (Young People Language School) での2週間のコースを無事に終了し、全員が修了証書をいただきました。

そして、いよいよこれからオタワでの1年間の高校生活が始まります。



YPLS 修了証書授与



YPLS での授業



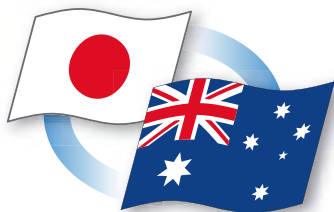
カナダ国会議事堂



Welcome party には在カナダ特命全権大使・門司健次郎氏も参加してくださいました(右の写真・左から2人目)



オーストラリアを体感中！



ICETプログラムにより、シドニーで異文化交流！



ICETはデイビッドソン・ハイスクールという公立校に併設されています。生徒は毎日ICETで、特別英語プログラムや、異文化理解と自己開発を主題とした授業を受けます。また一方で、自分の興味に応じて選択したデイビッドソン高校の授業やクラブ活動に参加します。ただし、数学だけは必須教科として扱われます。

デイビッドソン・ハイスクールは、中高一貫の共学校で制服もあります。

音楽、美術、ドラマ、ダンスなどの創作芸術分野に優れ、地区大会、州大会で多数の賞を獲得しています。

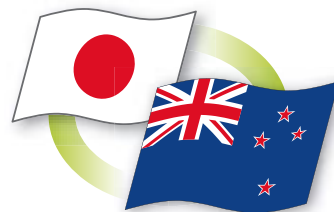
また、スポーツにおいてはサッ

カー、野球、バスケットボール、クリケット、スカッシュ、サーフィン、乗馬、ゴルフなど、たくさんの種目の中から学期毎に選択し、現地の生徒とともに参加します。

その他にも、オーストラリアが多文化国家であることから、ICETの生徒がリーダーとなって教育議会を開き、現地の高校生とお互いの価値観や文化を紹介しあったり、日本語学校でのボランティア活動に参加したりする野外活動にも参加できます。

授業の一環としてキャンベラへの研修旅行があり、また修学旅行としてケアンズを訪れ、熱帯雨林と珊瑚礁、そしてアボリジニーの文化を学ぶ体験ツアーを経験します。

ニュージーランドで頑張ってます！



ISAプログラムでオークランドに単身留学！



まつうらゆうき
松浦優樹くん 1年
(ISA ニュージーランド留学中)

もっといろいろな友達を増やすのが今後の目標です！

まだいろいろわからないことがあります。ホストファミリーに親切に教えてもらって、快適に過ごせています。

学校生活も中国人、ブラジル人、イギリス人、ニュージーランド人や三ヶ月留学中の日本人の友達が出来て、授業でわからないことをお互い教えあったりして、とても充実しています。

まだ英語を聞き取ることに慣

れていなくて、相手に日本語訳を見せてもらったりして会話をしている。早くきちんと聞き取れるようになって、楽しく会話ができるようになりたいと強く思っています。また、僕は人見知りですが、自分から積極的に話しかけて、もっといろいろな友達を増やしていくことが今後の目標です。

第111回 卒業式

卒業生512名 未来へ翔ける!

平成28年2月22日(月) 本校本館体育館に於いて第111回卒業証書授与式が挙行されました。



入場風景

吹奏楽部の演奏が流れる中、緊張した面持ちで入場する生徒たち



卒業証書授与

担任の先生が一人ひとりの名前を読み上げ、クラスの代表者が壇上で証書を受け取りました



三賞受賞者

大阪府知事賞を始め、三賞の表彰がありました。



大阪府知事賞



日本私立中学高等学校連合会会長賞



大阪府私立中学高等学校連合会会長賞

皆勤・精勤賞受賞者

今年度は3年間皆勤賞受賞41名、精勤賞受賞60名でした。



送辞・答辞



在校生から送辞が贈られ、卒業生代表が答辞で応えました。



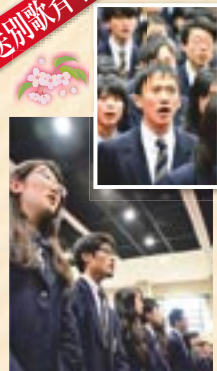
花束贈呈



保護者から教員へ花束が贈呈されました



送別歌斉唱



卒業生全員で「旅立ちの日に」を歌いました

退場



参列された保護者と教職員による花道の間を卒業生が退場していきました。

最後のHR



担任の先生から一人ひとりに卒業証書が渡されました



一人一言ずつメッセージを



最後のお話



自作DVDの上演



担任の先生と話す姿や、クラスの仲間と写真を撮り合う姿が見られました。

皆さんの未来に光りあれ!

3学年主任 井尻 真美子

卒業式に向かう生徒たちの背中には、とても凛々しく逞しいものでした。卒業証書授与に続き、三賞や皆勤・精勤など、他の模範となり努力・活躍した生徒に表彰状が授与されました。校長先生からは、「失敗を恐れずチャレンジすること」や「自分に厳しく接してくれる人を大切に」という励ましの言葉が贈られ、在校生代表・卒業生代表による送辞・答辞では学校生活のエピソードを交えた熱い思いが語られました。式の後には、各教室で最後のホームルームが行われ、別れを惜しむ姿があちこちで見られました。

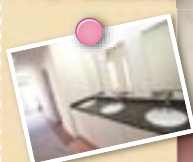
3年間で共に過ごした大阪学芸高校での日々は、それぞれの胸の中に刻まれていることと思います。皆さんの未来が光りあふれるものであることを願い、祝福いたします。

希望寮(女子寮)と花香庵(和室)が竣工しました!

本校南館の南西に隣接して女子寮と和室が建てられ、このほど完成しました。女子寮は「希望寮(きぼうりょう)」、和室は「花香庵(かきょうあん)」と命名され、3月1日に竣工式が執り行われました。寮は3月5日の入寮式より、また和室は新年度4月より使われます。

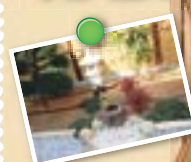
大阪学芸女子寮

希望寮



大阪学芸和室

花香庵



卒業生の活躍



女性で史上最年少の三段昇格!

特技2期生 2013年度卒業生

にし やま とも か
西山朋佳さん(20歳)

プロフィール 西山 朋佳(女性棋士)

特技コース2期生 2013年度卒業生

誕生 平成7年6月27日生。

実績 ● 第30回全国中学生選抜選手権大会女子部 優勝
● 第4期リコー杯女流王座戦 挑戦者決定戦進出

現在 慶応義塾大学環境情報学部。

特技コース2期生の西山さんは、慶応義塾大学環境情報学部で学びながらプロ棋士養成機関「関西奨励会」に在籍し、女性史上2人目の三段昇格、しかも最年少記録をはたしました。そんな西山さんの、将棋にかける思いを語っていただきました。

「現在、どのような活動
をしていますか？」

プロの育成期間である奨励会の会員で、現在三段です。昨年はリコー杯のタイトル戦に挑戦者となり、加藤桃子現女流二冠と五番勝負を戦いました。

「将棋の魅力を教えて下
さい」

対局は対局者同士の対話であり、指し手によって本性が垣間見えるところが面白いと思います。他には年齢や性別、職業等関係なく、盤をはさんでコミュニケーションをとれるところが、盤外での楽しみです。

「将棋を通じて学んだこ
とは何ですか？」

礼儀、将棋の形式美、日本の伝統文化の重要性、さらに相手の気持ちを慮ること、先を読むでいく力などだと思います。

「いままで将棋をしてき
て、楽しかったことや苦
しかったことは？」

将棋を指すために、いろいろな土地へ行って、様々な人に会えて直接激励を頂いたことが楽しく嬉しかったことです。また対局では、和服を着ることもあり、その美しさに改めて魅力を覚えました。辛いのは、他のことに費やすための時間を割けないことや、なかなか級や段が上がらないことです。

「高校での3年間はど
うでしたか？」

高校生活は、特技のことで先生方にとっても理解と応援をいただき、励まされてきました。大学入試のときはAO受験だったのですが、プレゼンテーションを見ていただいたり、資料作成を手伝っていただいたり、大変お世話になりました。合格できたのは担任の先生はじめ、学芸の先生方のおかげでした。友達もそれぞれ自分の特技に頑張っ

ていて、お互いの刺激となっていました。私が全く知らない競技の世界の話を聞くのも、興味深く感じました。現在も、高校時代にできた友達とは、家の距離は離れていますが頻繁に近況の報告などしています。

「当面の目標は何ですか？」

まずは、プロ四段になることです。

「後輩にメッセージをお
願いします。」

大学の合格が決まった直後は喜び半分、不安半分という気持ちでした。

この選択が結果的に棋力を衰えさせる原因になったらどうしようと悩みましたが、校長先生が「塞翁が馬」という言葉を教えて下さいました。

何が、本当に良いことかはその時にはわからないもので、これからも驕ることなく、腐ることなく、日々精進していけたらと思っています。お互いに頑張りましょう。



子供たちに夢を与えられるプレーヤーに!

特技4期生 2015年度卒業生

きし もと たけ る
岸本武流さん(18歳)

(C) CEREZO OSAKA SPORTS CLUB

プロフィール 岸本 武流(プロサッカー選手セレッソ大阪)

誕生 平成9年7月16日生。奈良県出身。

経歴 (所属サッカーチーム) ● 桜FC('10)
● セレッソ大阪 U-18('13)
● セレッソ大阪('16)

実績 高松宮杯 U-18 サッカーリーグ 2014 チャンピオンシップにて優勝

特技4期生の岸本君は親元から離れて寮生活をしながら、学業と、セレッソ大阪での厳しい練習を両立させて励んでいます。同サッカークラブU-18からトップチームのプロ入りを果たした岸本さんにサッカーに懸ける思いなどを語ってもらいました。

「いつからサッカーを
していますか？」

兄が先にサッカーをしており、練習や試合を見て、「カッコイイ!」と思ったのがきっかけで、幼稚園の頃にはじめました。もう12・3年になりますね。

「高校からセレッソ大
阪でサッカーをして
いるわけですが、ど
のような練習ですか？」

とにかくきついです。シーズンオフは走ってばかりです。とにかく走ります。グラウンドの周囲を決められた時間内に走らな

いといけません。そしてシーズン中は試合に合わせて体調を整えなくてはなりません。

けれども昨年度の「高円宮杯 U-18 サッカーリーグ」で全国優勝を果たせたときに、自分たちのやってきたこのきつい練習が正しかった!と思えましたね。間違いはなかった、努力が実ったのだとの思いが心の底からこみ上げてきました。

だから観客の皆さんには練習風景も見っていただきたいと思います。さらに深い見方で、試合を観戦することができるはずですから。

「サッカーをやめたい
と思ったことはない

のですか？」

あります。小学校3年生の時に野球に目覚めてしまって(笑)。父が野球をしていたのでその影響です。もうサッカーをやめようかなと思っていた矢先に、所属していたチームが優勝してしまい、そのまま続けることに。

「野球に転向していたらど
うだったでしょう？」

野球だったら、甲子園を目指すなんてとんでもない。普通のチームでもメンバーにすら入っていないのじゃないかな(笑)。今となっては、サッカーは生活の一部となっていて、やめたいと思うことはありません。



ボストンで活躍するクラシックバレリーナ

特技1期生 2012年度卒業生

樋口 響さん(21歳)



どこまでも優雅に踊りたい。
見る人に感動を与えられるように。



プロフィール 樋口 響(クラシックバレリーナ)

誕生 平成6年11月23日生。大阪府出身。

現在 Tulsa Ballet 所属



左から2人目

ソウダバレエスクール、Washington School of Ballet でクラシックバレエを学び、現在、Tulsa Ballet（バレエ団）に所属するプロのクラシックバレリーナです。現在、アメリカ・ボストン在住。そんな樋口さんにクラシックバレエについてうかがいました。

「クラシックバレエを始めるきっかけは何ですか？」

小学校1年生の時に、母に舞台を見に連れていってもらったのがきっかけです。

たまたま外国人ダンサーが出演しており、単純に「カッコいい」という感想を持ち、そこから「やってみたい」という気持ちを強く抱きました。

「バレエをやめたいと思ったことはありませんか？」

まったくないです。というのも、他にも習い事をいくつかして、それらは自分が目標とするレベルまでは簡単に到達していましたが、かえって、つまらなさを感じていました。クラシックバレエだけは別で、なかなか上達しません。向いていなかったんでしょう。体つきが、バレエをする人間の体型ではなかったのです。中学校にあがったとき、元所属していたバレエ教室から別の教室に変わったのですが、その体験入学の折、指導者から「正直、バレエに向いていない。プロになるには責任が持てない」と言われました。私はそれまで6年間バレエをやってきて、ある程度自信があったから「何を言っているんだ」と思い、見返してやろう、と考えました。ということは、向いていないから、逆にやり続けられたという結果になりました。

「樋口さんにとってバレエの魅力とは？」

たとえば、彫刻なら作者は彫刻刀で、思い描くように石や木を刻んで作品を作ります。クラシックバレエなら、演技者は身体で、思い描くように演技を作っていきます。ですから演技者としての魅力は、舞台の出来不出来とは別に、自分の体が思い通りに動いていくときに、非常に喜びを感じます。



前列左

「バレエを鑑賞するときのポイントとは？」

観劇のポイントとは異なるのですが、観客の皆さんには、「ダンサーはよくがんばっているな」と思ってほしいのです。クラシックバレエはどこまでも優雅なもの。優雅さを感じて楽しく観てほしいですね。

「バレエから学んだことは？」

根気、粘り強くやることです。バレエをやっていて、好きなことと嫌なことがありますが、目指しているレベルに到達するた

めには嫌なこともがんばり、克服するしかありません。「負けても終わりじゃない、やめたら終わりだ」と胸に刻んでいます。

「高校生活はどうでしたか？」

いろんな特技の友人がいて「がんばろう」という気持ちを持ちました。フィギュアスケートやサーフィンなどの種目で、海外で練習を積む姿を目の当たりにして、触発されました。こんな多彩な同世代に囲まれることも得難い経験でした。また在学中にクラシックバレエでアメリカに長期留学しましたが、それも特技コースであったからこそできた留学でした。

「将来の目標は何ですか？」

まずは今所属しているバレエ団で、しっかりセンターをつとめられるよう頑張りたい。次のステップのためには、それが大前提です。

「後輩にメッセージをお願いします。」

自分の高校生活を振り返っても思うのですが、高校生活で勉強や行事ごとなど、一つ一つにきちんと取り組んで、3年間を楽しんでください。

…ありがとうございました。

「いままでサッカーをしてきて、嬉しかったこと、つらかったことは？」

うれしかったことは、プロのサッカー選手になれたことです。とにかく心配をかけてきた親に孝行が出来たというのが実感です。練習中とはとにかく辛いです。練習以外でも苦しかったことはたくさんあります。下のチームに落とされたことや、代表に選ばれなかったことなど、結構よくそんな苦しい場面を経験しています。けれども、自分の努力は常に見られているから、腐らずに頑張ろう！と気持ちを締められました。

「常に心掛けていることは？」

個人プレーでないのも、チームワークがなによりも大切です。だからオフでもコミュニケーションをとるように気を配っています。チームメイトは仲がいいですよ。それと、試合前にはチョコレートを食べることにしていますね(笑)。気持的に落ち着くようです。

「高校生活はどうでしたか？」

特技コースですので、いろいろな特技に皆が頑張っている姿から、いい意味での大きな刺激を得ました。芸能をはじめ、さ

まざまな場で活躍しているのは誇らしいです。そんなクラスメイトと学校行事に取り組んだのがとても楽しかった思い出です。文化祭では、3年生では模擬店をしました。体育祭ではクラス対抗リレーで毎年優勝してきました。もちろん自分もリレーに参加していました。

ただ、セレッソ大阪の練習がきつかったのも、勉強との両立などは体力的にしんどかったですね。

「将来、どんなプレーヤーになりたいですか？」

具体的な名前を挙げるとするのなら、岡崎信司さん（日本代表 現在、レスター・シティ FC

所属）です。ゴールに向かって行く姿勢、泥臭く、ひたむきなプレーが目標とするところです。また、自分は幼稚園の頃からサッカーをやってきたからこそ言えるのですが、子供たちに夢を与えられる選手になりたいですね。

…ありがとうございました。



(C) CEREZO OSAKA SPORTS CLUB



(C) CEREZO OSAKA SPORTS CLUB

インタビューを終えて

インタビューは岸本さんの担任です。普段だけでは見えない努力の姿勢に、今回のインタビューの中で気づかされました。今後プロとなり、子供たちに希望を与えられる存在になってほしいと願っています。

学芸トピックス

平成27年度
大阪府選挙啓発

ポスターコンクールに入選!!

平成27年度明るくきれいな選挙啓発ポスターコンクールに本校から入選者ができました!



今年は本校から 3 名が入選!

毎年、美術の授業では、1学期にポスターを制作しています。

今年度も123名の作品を本コンクールに出品した結果、3名が大阪市(第一次審査)入選、さらにその中から2名が大阪府(第二次審査)に入選しました。

4年前より、住吉区役所から実際に使われている投票箱や投票用紙の見本などをお借りして、制作の参考にさせていただいています。

●大阪市(第一次審査)・大阪府(第二次審査)

さかい
阪井このみさん 1年3組
かとう じゅり
加藤 樹里さん 1年7組

●大阪市(第一次審査)入選

しんじょう ひなの
新庄 日菜乃さん 1年6組

入選作ギャラリー

本校出品の123作品中、見事審査をパスした入選作3作品をご紹介します。

大阪市(第一次審査)入選作品



▲新庄日菜乃さん 作

大阪市(第一次審査)・大阪府(第二次審査)入選作品



▲加藤 樹里さん 作



▲阪井このみさん 作

INFORMATION

大阪府(第二次審査)入選作品につきましては、大阪府のホームページでも閲覧ができます。

<http://www.pref.osaka.lg.jp/senkan/akaruisenkyo/27koukousei.html>

15年近く参加し続けています

本コンクールには15年近く出品を続けています。

最初は1名だけの入選でした。しかし、年々力をつけて、多い年には10名近い入選者が出たこともあります。

チャレンジを続けている理由とは?

出品している理由の一つは、選挙に関心を持てることももちろんなのですが、三回の審査のチャンスがあり、一次審査(大阪市)にパスすれば、二次審査(大阪府)にすすみ、二次審査をパスすれば、さらに三次審査(中央審査=国全体の審査)にまであがっていくことです。中央審査での受賞は、なかなか狭き門ではありますが、中央審査の段階までは今年も含め何度もチャンスをいただいています。

入選作品は完成度が高いものでした

入選した3名の作品は、いずれも美しい色彩と丁寧なレタリング、テーマの趣旨を正確に伝える内容で完成度の高いもので、納得のいく結果でした。

今年の夏より18歳選挙制が始まります

今年の夏より18歳から投票が可能になります。

高校生にも選挙権が与えられることになり、より身近なテーマとして制作に取り組めるようになると思います。今後も、さらに新しく魅力的な作品が生まれていくことを楽しみに、このコンクールに出品を続けていきたいと考えています。

全国高等学校総合体育大会 フィギュアスケート競技で総合6位!

平成27年度 全国高等学校総合体育大会第65回全国高等学校スケート競技選手権大会が平成28年1月19日～23日岩手県盛岡市アイスアリーナにおいて開催されました。本校から2名が参加し、女子総合6位の成績をおさめました。



全国高等学校 空手道選抜大会に

平成28年3月25日 北海道にて開催予定

出場決定!

- 男子団体形 ●女子団体形
- 男子個人形
星加 将吾 くん(2年2組)
- 女子個人形
田中 紅麻 さん(1年1組)
- 男子団体組手 ●女子団体組手
- 女子個人組手
高木 七奈 さん(2年7組)



アイススケート女子

山田さくらさん(3年1組)
森下 実咲さん(1年1組)



目指せ! 近畿高校駅伝出場!!

陸上競技部 (女子中長距離)の紹介

■活動時間

活動時間	月	火	水	木	金	土	日
授業終了～19:00	●	●	●	●	●	●	●

※試合時は日曜日も活動

■活動場所

長居公園周回・本校図書館前

■部員数

	1年	2年	3年	合計
女子	6人	5人	1人	12人

部員それぞれ自己ベスト更新を目標に日々練習!

陸上競技部(女子中長距離)活動紹介

陸上競技部は合計12人で活動しています。

個人競技における自己ベスト更新を駅伝での成果につなげるために、日々練習中です。



キャプテンは語る

陸上競技部キャプテン 塚口真依さん(2年3組)

私が大阪学芸高校陸上競技部に入部した理由は、中学の頃からやっていた陸上競技を高校でも続けたいと思ったからです。入部当初は1年生がひとりだけで心細かったのですが、徐々にメンバーも増えて仲良くなっていくにつれ、不安も少しずつ減ってきました。

2年生になり、後輩が入部してきて、先輩としての自覚、キャプテンとしての責任感を持つことができました。

陸上部の部員はそれぞれに個性があり、一緒にいるのがとても楽しいメンバーばかりです。しかし、練習が始まる時には切り替えができています。お互いライバル意識を持ち、競い合うことで練習の質をより高めることができています。

私は選抜特進コースで、遅い時間帯まで授業があるため、他の部員より練習時間が短くなってしまう日も多くあります。だからこそ、学業と部活動の両立をしっかりとすることで、

時間を有効に使い、ひとつひとつの練習を大切にすることができま。厳しい練習をすることも多いのですが、その練習を頑張った分、自己ベストが更新できたときの喜びは大きく、達成感を感じます。

大阪学芸高等学校陸上競技部は、各部員においては個人競技であるトラック種目での自己ベストを更新することを目標にしつつ、集大成としての駅伝に力を入れています。結果としては、昨年度の駅伝大阪予選会よりも本年度は順位を上げることができました。

私自身は3年生になった春のシーズンで引退してしまうので、来年度の駅伝には参加できないのですが、今までの経験を軸に、残りの部活動、そして勉強において悔いの残らないように頑張りたいと決意しています。



主な公式戦成績

5月29日～5月31日

大阪インターハイ

長居第2競技場

女子 3000m

30位 南野結芽 11分02秒55

36位 塚口真依 11分09秒54

8月14日～16日

大阪総体

長居第2競技場

女子 1年 3000m

22位 申 萌 11分41秒02

女子 2年 3000m

塚口真依 10分55秒94

9月5日～6日

私学大会

長居第2競技場

女子 3000m

12位 南野結芽 10分47秒42

17位 申 萌 11分15秒67

18位 塚口真依 11分16秒28

11月3日

第27回全国高校女子

駅伝大阪予選会

淀川河川敷21.0975km

総合 13位(出場 67 チーム中)

2時間 21分 24秒

(南野一申一中原一河合一塚口)

1区 (6km)

南野結芽 (3) 22分15秒

区間 11位 総合 11位

2区 (4.0975km)

申 萌 (1) 15分56秒

区間 14位 総合 12位

3区 (3km)

中原紘子 (1) 11分18秒

区間 11位 総合 12位

4区 (3km)

河合柚奈 (1) 12分57秒

区間 31位 総合 15位

5区 (5km)

塚口真依 (2) 18分58秒

区間 8位 総合 13位

ボクシング女子

駒方 桃子さん(3年2組)

柳井妃奈実さん(2年2組)

全日本女子ボクシング 選手権大会で大躍進!

平成 27 年度 第 14 回全日本女子ボクシング選手権大会が平成 27 年 12 月 21 日（月）から 23 日（水）まで近畿大学記念会館別館にて開催されました。本校からもジュニアの部で 2 名が大阪府大表として出場し、それぞれ以下のように優秀な成績をおさめました。

こま がた もも こ
駒方 桃子さん
(写真 左)

フェザー級 準優勝

やない ひ な み
柳井妃奈実さん
(写真 右)

バンタム級 優勝



ただいま菜の花育成中!

自然科学同好会

南館屋上で菜の花を育てています。2 月いっぱい屋上を彩ってくれました。





今年こそ!!

壁を乗り越え!!

大阪学芸高校野球部

硬式野球部の紹介

■活動日 / 毎日

■活動時間 / 下表

【特技コース】

活動時間	月	火	水	木	金
14:30~	●	●	●	●	●
15:30~				●	●

【進学コース】

活動時間	月	火	水	木	金
15:30~	●	●		●	●
16:30~			●		●

【特進・特理コース】

活動時間	月	火	水	木	金
15:30~	●			●	
16:30~			●		

特技コース…土・日は基本的に全日

進学・特進・特理コース…
④ 授業終了後
⑤ 基本的に全日

■活動場所 /

河南町大阪学芸グラウンド (バスで学校より約 1 時間)

■部員数 () は内女子マネージャー数

1年	2年	3年	合計
32(1)	35(2)	20(1)	87人(4)



ろしくお願いします。

今は冬のオフシーズンで、心身共に厳しい練習が多いのですが、自分自身の成長を楽しみに全員が日々一生懸命に練習に取り組んでいます。春、そして夏と更に成長した姿で、大阪学芸高校野球部の歴史を塗り替え、旋風を巻き起こします。ぜひともみなさん、応援よろしくお願いします。

チームのスローガンは「返事 挨拶・声・ダッシュ」で、だれでもできることを手を抜かず全力で行おうというものです。全員ができることだからこそ、大切なことであり、人と人のつながりや本気のチームワークが創られると考えています。また、「人間形成の野球道」を常に心がけ、社会に役立つ人間の育成をモットーとしています。野球の技術が上手であればよいのではなく、野球を通じてどう人生を豊かにしていけるかを常に考え、社会において必要とされる人材になることを目指すのが大阪学芸高校硬式野球部です。

目標と抱負

我々の目標は甲子園です。常に全員が高みを目指し、今までの自分を乗り越え、目の前の壁を越え続ける日々を送っています。自分自身の生きる姿勢に一本の筋を通し、一步一步確実に、そしてチーム一丸となって、必ず甲子園に出場するべく努力します。

キャプテンコメント

2年2組 上野一樹くん

僕たちの目標は、今までの大阪学芸高校野球部の歴史を変え、大阪大会を制覇し、甲子園に出場することです。甲子園を目指すうえで一番大事にしていることは、「返事・挨拶・声・ダッシュ」です。なぜこのことを一番大事にしているかというと、それはどんな強豪校にも負けない部分であり、これをチームの土台として戦っていきたくからです。ひとつでもできていない者がいた場合は、グラウンドから出し、その日の練習には参加させていません。そこまで徹底しています。

バレーボールアリーナ完成



本校校舎敷地より北へ約 300 メートルの地に、平成 27 年 6 月バレーボールアリーナが完成しました。春の高校バレー全国大会と同じオレンジコートの上で、女子バレーボール部が連日練習に励んでいます。

本館体育館床面改修完了



平成 27 年 12 月、本館体育館の床を改修しました。新しい床面は体育授業や部活動を行う全ての人に配慮し、衝撃吸収・グリップ力等に優れたタラフレックスという素材を用いています。